学校番号	1302

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	（学）数学基礎演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

小学校・中学校の内容をもう一度学び直し、社会生活で必要な論理的思考力や数的概念を身につけていきます。基本的な四則演算や文字式の計算などは、何度も反復練習をして力を伸ばしましょう。先生の話を聞いて板書を書き写すだけでなく、分からないところは積極的に質問しましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・基礎的な四則演算、分数、小数、割合などの計算ができ、またその計算方法を自分なりに工夫できるようにする。
・基本的な文字式の計算方法や方程式の概念を理解し、式の変形や方程式の解き方を理解できるようにする。
・関数の概念を理解し、関数のグラフを活用できるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
・算数や数学の知識、技術を実生活と関連づけて問題を表現し、分析、解決する力を身につける。
【学びに向かう力、人間性等】
・算数や数学の有用性に気づき、勉強の大切さを発見できるようにする。
・解けなかった問題が解ける喜び、理解する楽しさを実感し、勉強する面白さに気づけるようにする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	基礎的な四則演算、分数、小数、割合などの計算ができている。さらに、基本的な文字式の計算ができ、方程式を解くことができる。関数の概念を理解し、関数のグラフを活用したりできる。	算数や数学の知識、技術について自分なりに考えるとともに、実生活と関連づけて問題を表現し、分析、解決することができる。	算数や数学の有用性を認識し、粘り強く学習に取り組むことができる。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	数の計算	数の計算 小数、分数の計算 割合の計算 正負の数の計算	a:基礎的な四則計算ができる。 b:計算方法を自分なりに工夫できる。 c:数学の有用性を認識し、粘り強く学習に取り組むことができる。	定期考査	定期考査 提出物	提出物 観察
	数と式	文字式 単項式と多項式 式の展開	a:指数法則や分配法則等の基礎的な文字式の計算ができる。 b:文字式の概念を理解し、表現できる。 c:数学の有用性を認識し、粘り強く学習に取り組むことができる。	定期考査	定期考査 提出物	提出物 観察
2学期	式の計算	展開の公式 因数分解	a:展開や因数分解の計算ができる。 b:公式を活用した式の計算ができる。 c:数学の有用性を認識し、粘り強く学習に取り組むことができる。	定期考査	定期考査 提出物	提出物 観察
	方程式	１次方程式 連立方程式	a:１次方程式、連立方程式の解法を理解し、解を求めることができる。 b:方程式の意味を理解し、活用できる。 c:数学の有用性を認識し、粘り強く学習に取り組むことができる。	定期考査	定期考査 提出物	提出物 観察
	関数	関数 １次関数のグラフ	a:１次関数の性質を理解し、グラフを書くことができる。 b:関数の概念を理解し、実生活と関連づけて考察することができる。 c:数学の有用性を認識し、粘り強く学習に取り組むことができる。	定期考査	定期考査 提出物	提出物 観察
3学期	数学と人間の活動	約数と倍数 素因数分解 最大公約数 最小公倍数	a:数学と人間の関わりについて学ぶとともに、さまざまな数学的概念や考え方を理解する。 b:さまざまな事象を数学的に観察し、考察し、判断しようとする。 c:数学の有用性を認識し、粘り強く学習に取り組むことができる。	定期考査	定期考査 提出物	提出物 観察
	数と式	平方根 根号を含む式の計算	a:根号を含む式の計算ができる。 b:平方根や根号の意味を理解し、適切に表現できる。 c:数学の有用性を認識し、粘り強く学習に取り組むことができる。	定期考査	定期考査 提出物	提出物 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度